

「情報公開文書」

研究課題名：新型コロナウイルス（COVID-19）感染症パンデミックによる胃 X 線検診への影響

研究責任者：

研究責任者：浅沼 清孝 研究分担者：千葉隆士、只野敏浩、加藤勝章

研究機関：宮城県対がん協会

1. 研究の対象

2018 年度から 2021 年度まで当協会で行った対策型胃 X 線検診受診者

2. 研究目的・方法

期間：2023 年 3 月 27 日（倫理委員会承認後）から 2024 年 3 月 31 日迄

方法：コロナ禍における 2020 年度の検診延期と総合検診を特定検診のみとの併用や胃 X 線検診単独に変更したことによる対策型胃 X 線検診の受診者数の変化を、2020 年度と 2021 年について 2019 年度受診者数と比較します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

受診者番号、実施主体、検診結果等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて受診者さまもしくは受診者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも受診者さまに不利益が生じることはありません。

宮城県対がん協会、研究責任者 浅沼清孝 電話 022-263-1525